



伊勢茶のおいしさを
際立たせた関宿銘茶

かねき特上煎茶

70g 缶入り 1,000円

関宿 お茶のかねき

有限会社かねき伊藤彦市商店
亀山市関町中町390
TEL 0595-96-0357
http://www.h3.dion.ne.jp/~kaneki/
営業時間) 9時30分~18時30分 日曜・祝日不定休



慶応元年の創業以来、長年にわたり県内や中部、近畿地方などのお茶小売店に伊勢茶を卸してきた同店が平成18年に手がけた新しい関宿銘茶。「かねき」らしさをもっとも感じてもらえるように、南勢の煎茶と北勢のかげ茶をブレンドして強火加工。まるやかな中にも香りの高さや味の濃厚さが引き立つ、特上ならではのおいしさを楽しめる。良い伊勢茶を

手軽に味わってもらえるよう求めやすい価格にしたうえ、関宿の雰囲気にも合うようデザインした缶もレトロな味わいと長く使える実用性を備えている。上級煎茶から玄米茶や番茶まで、卸問屋ならではの豊富なお茶を手がけてきた同店だからできた伊勢茶の新しい味だ。良いお茶をおいしく飲める茶の淹れ方も教えてくれるので、ぜひ試してみてください。

亀山市街地から鈴鹿山麓へ向かう間に、見渡す限り茶畑が広がる一帯がある。澄んだ空気と地下水に加え、一日の寒暖差が大きい気候、朝霧が発生する地形条件に恵まれた亀山茶は、茶葉に力があり、味や香りが落ちにくい濃厚な味わいが特徴。その亀山産100%で作った銘茶「かめやま」は、深蒸しの一手手前まで蒸し上げため緑茶の成分がよく浸出され、

渋みを抑えたまるやかな味わい。なかでも「特上」は、一番茶のうち最初の柔らかい新芽を摘んでおり、三煎も利くコクのある味とともに清新な香りを楽しめる。人気も高く、遠方から宅配便の注文も舞い込むほど。ギャラリーを併設したJR亀山駅前の「茶気茶気」では客へのもてなしにこのお茶をふるまってくれるので、清新な味と香りを楽しんでほしい。



澄んだ香りと
まるやかなコク

特上かめやま

100g 1,050円

亀山茶農業協同組合

直売所「茶気茶気」
亀山市御幸町174-6 (JR亀山駅前)
TEL 0595-82-0429
http://chaki-chaki.com
営業時間) 9時~17時 日曜・祝日定休



米・水・人にこだわった
淡麗のうまさ

うきもみじ 浮紅葉

吟醸仕込み(720ml) 1,050円
" (1.8l) 1,920円ほか

山形屋酒店

亀山市東丸町527
TEL 0595-82-0207
営業時間) 8時~20時 木曜定休

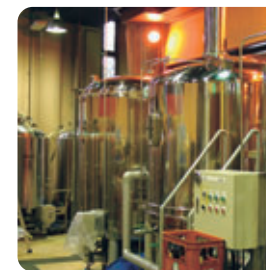


江戸時代より代々亀山で酒屋を営んでいた老舗。昔は酒造りもしており、当時の銘酒「薄紅葉」(現在は他業者が登録商標済)にちなんで「浮紅葉」によって平成8年に販売を復活した。自前の蔵がないため店主の伊藤勝さんが県内の蔵を回って最も気に入った伊賀の若戎酒造に製造を委託。吟醸仕込み、純米吟醸、純米酒、大吟醸の4種類を720mlと1.8lで販

売(大吟醸は720mlのみ、純米酒は1.8lのみ)している。原料の米は大吟醸に三重山田錦を、純米吟醸・純米酒に五百万石を、水は青山高原の伏流水を用い、「現代の名工」にも選ばれた但馬杜氏の中村貢が指揮するこだわりの酒だ。「口当たりが軽やかでぐっと入ってくるけど、後口の引きが良い」(伊藤さん)と淡麗で、年々売上が伸びている。

地ビールブームに沸いていた96年に亀山のおいしい水を活かして誕生。鈴鹿川の伏流水を用い、年間を通して飲めるケルシュと夏場のみ飲めるアルトの2種類を作っている。ケルシュはドイツのケルン地方で作られる地ビール。麦芽100%なのですっきりと飲みやすく、上面発酵によるフルーティな香りが楽しめる。アルトはカラメル麦芽の甘味とホップの

ほろ苦さが調和し、夏に二杯、三杯と飲みたくなる味。いずれも地ビール本来の風味を優先し、最終段階での濾過や熱処理をしない。酵母が生きているので賞味期限は冷蔵して7~10日。鮮度の良い旬の味と香りを楽しみたい。醸造場がある「亀山宿あんぜん文化村」で飲んだり、買うことができる。漫画家・富永一朗の描いたラベルの絵も微笑ましい。



亀山のおいしい水を
活かした豊かな風味

かめやま地ビール 乾杯のうた

500ml 500円

株式会社安全

ドライブイン「亀山宿あんぜん文化村」
亀山市太岡寺町1180
TEL 0595-82-1234
営業時間) 9時~20時 無休

